

平成 23 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏名 藤本 寿彦

最終学歴	1978年明治大学大学院修士課程文学研究科日本文学専攻修了	
取得学位	文学修士	
所属学会	日本近代文学会	
専門分野	日本近代詩研究 昭和文学研究	
研究課題	昭和期の詩、短歌、俳句研究、幸田文研究	
授業科目	学部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・言語・文学（通年） ・国文学講読（通年） ・演習Ⅰ（通年） ・演習Ⅱ（通年） ・卒業論文（通年） ・近代詩歌論（前期） ・近代文学概論Ⅱ（後期） ・出版情報論（後期）
	大学院修士課程担当科目（博士前期課程含）	<ul style="list-style-type: none"> ・近代文学論演習（通年）
	大学院博士後期課程担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
	通信教育部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・現代文学論 ・ ・ ・
【研究上の特記事項】	<p>大正末年以降のアバンギャルド芸術運動の展開を、日本の伝統詩歌との関連において見直していく。北川冬彦や三好達治を中心にして、昭和初年代の新散文詩運動の捉え直した。幸田文研究ははまだ作家論的なアプローチを脱していない状況にあるが、テキスト論の導入によって、企まれた語りによって生み出される虚構世界を読み解いている。</p>	
【教育上の特記事項】	<p>高校までの国語教育において、詩歌の授業は質的にも量的にも貧弱であるため、学生の関心度は低い。小説や随筆などの散文表現と関連づけながら、詩歌独特の発想に気づかせている。詩歌に描かれた風景を絵に描かせて、言語化された世界との相違を考えさせて、詩的表現の広がりやを体得させている。</p>	
【社会的活動】	<p>日本近代文学館図書資料委員 詩に描かれた親子 奈良大学国文学講座（「日本文学における家族」） 於奈良市立北部会館 丸山薫少年少女文学賞（山形県西川町）実行委員会顧問</p>	
【学内活動】 （学内職歴を含む）	<p>文学部入試委員 全学入試委員 センター入試委員 図書委員</p>	

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
①『コレクション・都市モダニズム詩誌』	単著	2011年4月	ゆまに書房	新散文詩運動の拠点になった詩誌「時間」の複製と、新散文詩運動の詩的表現の実態を解明。同運動を研究するための解題、関連年表、主要参考文献目録を付載。
②				
③				
④				
⑤				
(学術論文)				
①新散文詩運動	単著	2011年4月	ゆまに書房	従来、全容が知られていなかった詩誌「時間」を対象にして、新散文詩運動の可能性と限界について論じ、昭和初年代のモダニズム詩史上に位置付けた。
②幸田文「崩れ」の方法	単著	2011年10月	「始更」	「崩れ」は日本文学が風景化し得なかった景観を、身体とシンクロさせながら表象するテキストとして論じている。
③変容する戦後空間「菅野」と「私」の造型—幸田文「菅野の記」の蹉跌—	単著	2011年10月	「始更」	「菅野の記」は幸田露伴の死を書いた随筆として評価されていたが、そのような枠組を取りながら、「私」のアンヴィヴァレントな存在性を表象するフィクションとして捉え直している。
④合同詩集『海港』の世界—近代的な港湾風景「横浜」の成立—	単著	2011年10月	「始更」	港湾風景を最初に表象した大正期の詩集『海港』を対象にして、詩的表現を可能にした詩人の感性と、それが醸成されたトポスとしての「横浜」を論じている。
⑤				
(学会発表)				
①				
②				
③				
④				
⑤				
(その他)				

①解題	単著	2011年4月	コレクション・都市モダニズム詩誌	詩誌「時間」の歴史的背景や掲載作品における表現の問題について指摘している。
②関連年表	単著	2011年4月	コレクション・都市モダニズム詩誌	新散文詩運動に関連する事項を時系列でまとめている。
③主要参考文献目録	単著	2011年4月	コレクション・都市モダニズム詩誌	新散文詩運動に関する文献を収録している。
④				
⑤				